

## ニチイキッズ元鳴尾保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

| 評価方法           |      |  |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2024年1月4日（木）～1月26日（金）                  |
|                | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。           |
| 保育施設の評価        | 評価日  | 2023年2月22日（木）                          |
|                | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価     |  |
|-------------|--|
| 保育理念        | 「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の理念に則り、STEAM 教育を取り入れる中で保育者が「子どもへの言葉がけ」を意識し、子ども主体の保育に繋げることが出来た。  |
| 子どもの発達援助    | 子どもの成長や季節に合わせて定期的に保育室の環境構成を変更し整えた。それにより子どもが集中して遊べるようになり、また子ども同士のトラブルも軽減した。個別に支援が必要な児については定期会議で課題の洗い出しや対応策の共有を図り、職員間の連携がとれるようにした。 |
| 保護者に対する支援   | 「保育の見える化」を意識し、写真や動画で保育の様子や行事等をこまめに伝えるようにした。個別の様子については、行事への取り組みや良かったこと保育者が嬉しかった事もこまめに伝えることを意識し、保護者との信頼関係の構築に努めた。                  |
| 保育を支える組織的基盤 | キャリアアップ研修や外部の研修のほか、今年度は新たに安全計画に則った園内研修を定期的に行いスキルアップを図ることが出来た。それを職員一人一人がどのように「保育の質の向上」に繋げていくかが来年度への課題である。                         |

| 総評  |
|---|
| <p>保育士不足の中でも「保育の質」を落とさずに一人一人に向き合いながら計画に基づいて保育や行事を行うことができた。その要因としては未満児クラスと以上児クラスの保育士が「連携を取ってお互いに助け合う」ことを意識したことによるもので、それにより団結力を高めることも出来た。来年度に向けて連携の取り方についての仕組みを構築して、わかりやすくしていくことが必要である。「保育の見える化」への取り組みは、保護者に園の活動についてよりご理解いただくことに繋がったと感じるので来年度も継続していきたい。</p> |

